



令和8年度 理事長杯決勝競技組合せ表

OUT

令和8年 6月14日(日)

組	時間	氏名	コース HDCP	NET	氏名	コース HDCP	NET	氏名	コース HDCP	NET	氏名	コース HDCP	NET
1	7:30	山地良典	13	42.5	小山豊	11	43.5	川西利弘	13	46.5			
2	7:37	長尾幸彦	13	40.5	末友太郎	8	41	青柳匡泰	13	41.5			
3	7:44	細川初弘	6	39	細谷公敏	9	39.5	新岡良一	8	40			
4	7:51	住田積	12	38	川崎大地	12	38	奴賀雄次	12	38	木村太郎	10	39
5	7:58	入谷祥王	12	36	石原義治	8	37	池浦正仁	12	37	前川友幸	11	37.5
6	8:05	小倉昭	11	34.5	福井勝祐	13	35.5	松原英二	7	35.5	久保政彦	8	36

《周知事項・競技規則》

1. ティーマーカー バックティ使用（特設ティーの使用は不可、すべて打ち直しとする。）
2. 14番ホールにおいて、球がグリーン手前のペナルティーエリアの中に入った場合は、通常のペナルティーエリアの処置以外に、1打罰で、元の球か別の球を指定ドロップゾーンにドロップしてプレーすることができる。このドロップゾーンは規則14.3に基づく救済エリアである。

3. 理事長杯はロイヤル高松カントリークラブ所属会員でハンディキャップインデックスを所持する者。
 - (1) ハンディキャップインデックスが11.6を超える者が参加する場合、本大会で適用するハンディキャップインデックスの上限は15.9とする。
 - (2) 理事長杯に適用するハンディキャップはプレーヤーの大会当月1日時点のハンディキャップインデックスの数値をもとに換算されたコースハンディキャップ(男子・BACK)とする。
 - (3) 理事長杯に適用するコースハンディキャップ14～18迄の者はコースハンディキャップ13に切上げて参加する事が出来る。
4. キャディー(予選ラウンド・決勝ラウンド共にセルフプレー)

規則10.3は次のように修正される。プレーヤーはキャディーを使用してはならない。

このローカルルールの違反の罰:違反のあった各ホールに対して一般の罰を受ける。

《注意事項》

1. ローカルルール等に追加、変更のある時はスタート室付近に告示する。
2. 1位タイとなった場合は2週間以内に18Hのプレーオフで決定する。

その他のタイの場合は ①2日間のトータルグロス上位 ②1日目のグロス上位 ③高年者上位
3. 欠席者が出た場合、組合せを一部変更する場合がある。
4. スタート10分前にはティーイングエリア付近に待機すること。
5. 無断欠席の場合は、次のエントリー資格を失う。
6. 競技委員会は競技中を含めいつでも出場に相応しくないと判断した競技者の参加を取り消す事が出来る。

競技委員長 松岡 孝雄